

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 つぼみケア

保護者等数 6 回収数 6 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6				他児の様子を聞くと安心して過ごしていると思います。	ご意見ありがとうございます。お子さんの姿に合わせて必要な支援を考えていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	6					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				色々な企画ありがとうございます。	ありがとうございます。お子さんが楽しんで取り組むことができる活動を考えて実施していきます。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	6					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6					
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5	1				支援内容を連絡帳に記入しています。わかりやすい説明を心がけていきます。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	5	1				家族支援プログラムの実施を工夫していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5		1			今後は家庭訪問等の家族支援を実施していきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		1	1	機会があったら参加したい。	ありがとうございます。5月保護者会・10月親子ミニ運動会を開催させていただきました。今後も案内していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1		1		通信やホームページで毎月の活動内容をお知らせしています。今後もわかりやすく発信していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4		1	1		マニュアルを策定して訓練を実施しています。通信やホームページで分かりやすく発信していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			2		マニュアルに沿った訓練を実施しています。通信やホームページで分かりやすく発信していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6					
	23	事業所の支援に満足しているか	6					

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 つぼみケア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		医療的ケアやベッドのエリアを確保しています。	バギーでの移動がしやすい。狭いと感じることはありません。
	2	職員の配置数は適切である	4			利用人数に対しては適切な配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		利用児によって玩具（遊具）を置く場所を変更しています。バリアフリー化しています。	エレベーターを使用して事業所（2階）に上がっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃を実施。環境整備を行っています。	活動内容によって片付けを行い、共有物の消毒等しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		職員会議や面談等で業務改善の話し合いを行っています。	前期・後期と目標を立てて取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			評価で頂いたご意見をもとに、改善を行っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		事業所評価についてはホームページ上で公開しています。	公開情報を発信していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		第三者評価は未実施。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内研修を行っています。	必要な外部研修やU35研修を行っています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		アセスメントシートと保護者要望書を用いて個別支援計画を立案しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントツールを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			保護者の要望や児のニーズを把握して、各項目を検討して実施しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			療育記録連絡帳の項目に入れ、常に計画に沿った支援をしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		一週間毎に活動内容を考えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼でその日の活動や医療的ケアについて周知しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日終礼で振り返りを行っています。	終礼で支援についての振り返りが少ないように思うので、今後改善していきたいです。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		個別支援計画書の内容に沿って記録を残しています。	記入のみで改善に繋がっていないことも多いです。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		モニタリングして計画を見直しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		担当児の保健師と情報共有を行っています。	玉島母子保健連絡会等に参加して連携を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		訪問看護やリハビリ、主治医、保育等の機関と連携しています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		医師の指示書をもとに必要なケアについて共有しています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			今後移行するケースについては実施していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			今後移行するケースについては実施していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		今後はセンターや他事業所とも連携していきたいです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		保育園(同建屋)の行事に参加しています。	

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1		開催状況を把握して積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳や送迎時の引き継ぎで情報共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4		家族支援プログラムの支援を行ってきたいです。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		利用契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		個別支援計画書の説明時に同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		5月茶話会・10月ミニ運動会を開催しました。	今後も茶話会などを開催して保護者同士の繋がりを支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		夏祭りを開催しています。	
		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		マニュアルを策定して訓練を実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を実施しています。	

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	保護者と栄養士が懇談しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		ヒヤリハット・事故報告書を作成して改善策を話し合っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止について研修して対応を決めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	身体拘束についての指針や対応を決めています。	やむを得ない身体拘束を行う場合は説明して理解を得た上で計画に記載していきます。